



Pixelの基本操作

Pixelに搭載されているAndroid 10や11では、従来のAndroidにあった画面下部のナビゲーションボタンがなくなり、基本操作がジェスチャーに変わりました。“ホームに戻る”、“戻る／閉じる”、“アプリの履歴を見る”などの操作は画面のSwipeで行います。

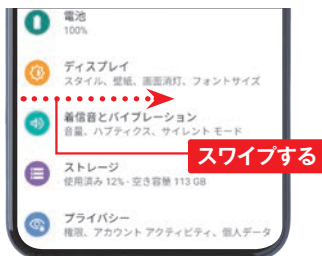
●ホームに戻る

アプリを開いた状態で、画面下部から上にSwipeすると、アプリが閉じてホーム画面に戻ります。



●戻る／閉じる

左または右の画面端から中心に向かってSwipeすると、直前の画面に戻ったり、開いていたアプリが閉じたりします。たとえば、Chromeブラウザでは、画面左端から中心に向かってSwipeすると、前のページに戻ります。



●アプリを切り替える

画面下部を左右にSwipeすると、最近使ったアプリに次々に切り替わります（開いているアプリの確認や、アプリを終了する操作は、Sec.13を参照）。



MEMO

ナビゲーションボタンを表示する

「設定」アプリを開き、<システム> → <ジェスチャー> → <システムナビゲーション>の順にタップし、<3ボタンナビゲーション>をオンにすると、従来のナビゲーションボタンを使うことができます。

ジェスチャーナビゲーション
ホームに移動するには、画面の下部から上にSwipeします。アプリを切り替えるには、下から上にSwipeして長押ししてから離します。戻るには、左端または右端からSwipeします。

3ボタンナビゲーション
戻る、ホームへの移動、アプリの切り替えを画面下部のボタンで行います。



クイック設定を利用する

クイック設定をタップしてPixelの主要な機能のオン／オフを切り替えたり、長押しして設定を変更したりすることができます。「設定」アプリよりもすばやく使うことができる上に、オン／オフの状態をひと目で確認することができて便利です。クイック設定は、ロック画面からも表示可能です。

G クイック設定を表示する

1 P.15手順**1**の操作でクイック設定が開き、タイルが6つ表示されます。タイルをタップすると、機能のオン／オフを切り替えることができます。



2 さらに画面を下方向にスワイプすると、クイック設定の表示エリアが拡大して、多くのタイルが表示されます。画面をタップすると、クイック設定が閉じます。



MEMO クイック設定のその他の機能

クイック設定に配置されているタイルを長押しすると、「設定」アプリの該当項目が表示されて、詳細な設定を行うことができます。画面右下の⚙️をタップすると、「設定」アプリを開くことができます。また、画面上部のスライダーを左右にドラッグすると、画面の明るさを調整することができます。



ジェスチャーで操作する

Pixelは、画面のタップやスワイプ以外に、本体を触れて操作するジェスチャーが用意されています。手首を2回スナップしてカメラを切り替えたり、画面を下に伏せてサイレントモードにするジェスチャーもあります（P.62参照）。

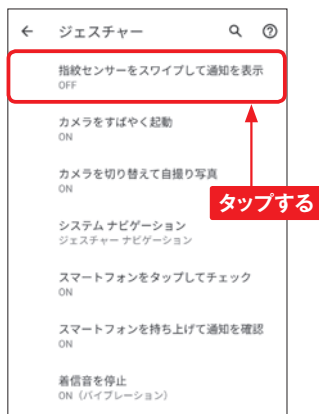
- 1** P.23を参考にアプリ一覧画面を表示し、＜設定＞→＜システム＞の順にタップします。



- 2** ＜ジェスチャー＞をタップします。



- 3** 有効にしたいジェスチャー（ここでは＜指紋センサーをスワイプして通知を表示＞）をタップします。



- 4** 〇をタップして●にします。指紋センサーをスワイプすると、通知が表示されるようになります。



ドックのアプリの候補を変更する

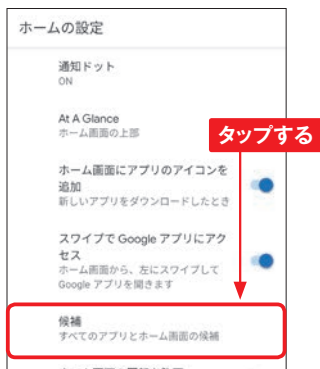


Android 11では、ホーム画面の最下列にユーザーの操作にもとづいたアプリの候補を表示する機能があります。これまでと同じドックの機能を利用するには、この機能をオフにする必要があります。

- 1** ホーム画面を長押しし、<ホームの設定>をタップします。



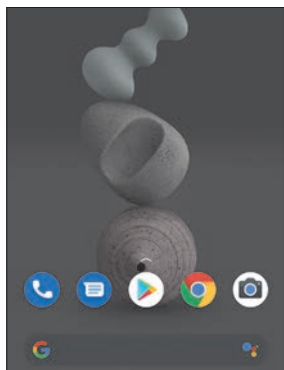
- 2** <候補>をタップします。



- 3** <ホーム画面上の候補>の をタップして、 にします。



- 4** 通常のドックが利用できるようになります。





夜間モードにする

「夜間モード」にすると、設定中の時間は、画面のブルーライトがカットされて黄色がかった画面になります。目にやさしく、薄暗い明かりでもPixelの画面が見やすくなります。また、「おやすみモード」にすると、画面がグレイスケールになり、サイレントモードで音や通知が停止します。こちらは睡眠している時間内に設定するとよいでしょう。

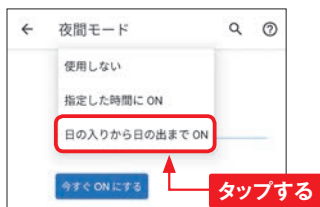
- 1 「設定」アプリを開き、<ディスプレイ>→<夜間モード>をタップします。



- 2 <スケジュール>をタップします。



- 3 ここでは<日の入りから日の出までON>をタップします。



- 4 <日の出までONにする>をタップして、開始します。



TIPS おやすみモードにする

「設定」アプリを開き、<Digital Wellbeingと保護者による使用制限>→<データを表示>→<おやすみ時間モード>の順にタップして設定します。





キーボードをフロートさせる

フローティングを設定すると、キーボードの位置を自由に動かしたり縮小したりできるようになります。アプリによって、情報が表示される領域が狭いと感じた場合などに利用すると、作業しやすくなるでしょう。また、キーボードを縮小して左右に寄せることで、手の小さい人でも片手入力がしやすくなります。

- 1** テキストの入力画面で、をタップし、をタップします。



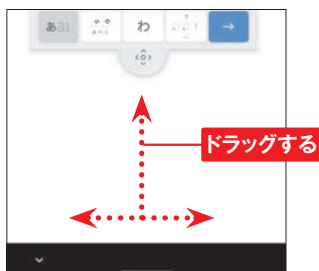
- 2** <フローティング>をタップします。ここで<片手モード>をタップすると、片手モードになります。



- 3** キーボードが浮いたようになります。をドラッグします。



- 4** キーボードが移動します。



MEMO キーボードを縮小する

キーボードを縮小したい場合は、手順**3**の画面で、キーボードの四隅のどれか1つを選んで斜め方向にドラッグすると、大きさを調整することができます。


動画の手ぶれを補正する



Pixel 5では、手ぶれ補正で4つの種類から選択することができます。適切なものを選択して、動画を滑らかに撮影します。Pixel 4a (5G) と4aでは利用できません。

- 1** 画面を左右にスワイプして、動画モードに切り替えます。



- 2**  をタップします。



- 3** 手ぶれ補正の種類をタップして選択します。



MEMO 手ぶれ補正の種類

標準	動きが小さい場合に選択します（デフォルト）。
ロック	遠くの静物を撮影する場合に選択します。
アクティブ	激しい動作を撮影する場合に選択します。
シネマティック撮影	映画のようなスムーズなパン撮影の場合に選択します。ステディカムで撮影したような雰囲気になります。

Googleレンズで似た製品を検索する



Googleレンズは、カメラで対象物を認識・分析することで、関連する情報などを調べることができる機能です。ここでは、Googleレンズで似た製品を検索する例を紹介します。好みの製品に近いものを探したい場合などに活用するとよいでしょう。

- 1** 画面を左にスワイプして「モード」(4a (5G) / 4aは<その他>)に切り替え、<レンズ>をタップします。



- 2** 初回は<カメラをオンにしてレンズを使用> (または<カメラを起動>) → <許可>の順にタップします。カメラを商品に向け、表示される●をタップします。



- 3** 似た製品が表示され、タップすると詳細が確認できます。



MEMO テキストを検索する

手順**2**の画面でテキストをタップすると、テキストを読み取って検索することもできます。

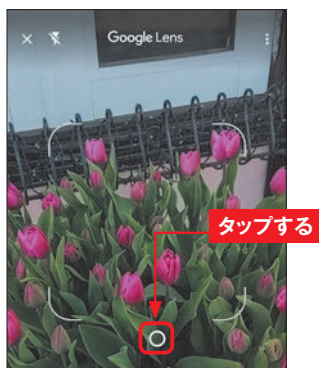


Googleレンズで植物や動物を調べる



Googleレンズでは、植物や動物を認識することができます。類似した種別がある場合は複数の候補が表示されます。公園や森などで、名前を知らない植物や動物を見つけたときに活用するとよいでしょう。

- 1** P.69手順**2**の画面で、カメラを植物や動物に向け、シャッターボタンをタップします。



- 2** 候補が表示されるので、いずれかの候補をタップします。



- 3** 詳細が表示されます。



TIPS QRコードを読み取る

カメラをQRコードに向けて、表示されたURLやコンテンツ名をタップするとWebページが表示されます。





ライブビューを利用する

「マップ」アプリでは、現在地から目的地までのルートを探すことができます。徒歩のルート検索の場合は、カメラで写した周囲の景色に、矢印などの案内を表示することができます。

- 1 「マップ」アプリで目的地を入力し、<経路>をタップします。



- 2 48分 → <ライブビュー>の順にタップします。



- 3 <次へ>→<次へ>→<開始>→<OK>の順にタップします。



- 4 周囲の建物にカメラを向けると、ナビの指示が表示されます。

